

震災と戦災を考えよう！ 実施記録

主催：まちづくりネットワーク緑

共催：わいわい広っぱ、備六会

日時：2022年（令和4）9月1日 10時30分～13時

場所：東京都墨田区横網町公園（JR 両国駅徒歩10分）

参加者：20名

目的：いつ発生してもおかしくない首都直下型地震、今年の9月1日は関東大震災から99年になります。また、ウクライナの戦禍の報道は、太平洋戦争（第二次世界大戦）終戦から77年を迎えた今、改めて「戦争と平和」を考えさせてくれます。9月1日防災の日に、両国駅近くにある都立横網町公園の、震災と戦災の施設を訪問し、考える機会を企画しました。

資料：①震災と戦災を考えよう（チラシ） ②横網町公園 ③両国にぎわいガイドマップ
④東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑 ⑤東京大空襲・戦災資料センター
⑥同展示品リスト ⑦横浜市資料室展示会 ⑧参加者名簿

1. 集合：両国観光案内所

JR両国駅西口前の土俵のある観光案内所に集合、池田さんから横網町公園の主な施設の説明、自由散策、食事についての説明があった。



2. 都立横網町公園（旧陸軍被服廠跡）

1923年（大正12）9月1日の関東大震災で3万8千人が亡くなった陸軍被服廠跡の震災遭難児童弔魂像まえで集合写真。



参加者（敬称略）：

相原夫婦、池田、上原、植山、大湯
加藤、片山、黒沢、小早川、小林
杉原、添田、田中（晃）、田中（喜）
中島、永井、山田、吉開、和田

撮影：片山さん

3. 東京都慰霊堂：

1923年（大正12）9月1日、関東大震災で燃え広がる火災から逃れた4万人の人々が、当時「被服廟跡」と呼ばれていた当地に逃げ、火災旋風に巻き込まれて亡くなりました。

1930年（昭和5）寄付によって「震災記念堂」が建てられました。1945年（昭和20年）3月10日の大空襲により仮埋葬されたお骨が、焼け残った当地に納められ「東京都慰霊堂」に名称変更されました。9月1日、3月10日両日に震災と戦災の犠牲者16万3千人を弔う慰霊大法要が行われています。



4. 東京都復興記念館：

関東大震災に関する資料を保存する「震災復興記念館」として発足、焼けた身の回り品、絵画や東京の原型になる復興事業の模型等が展示され、東京都復興記念館に名称変更されました。当日は納骨堂が公開されていました。



5. 東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑

東京空襲で犠牲になった方々の名前が納められ、年2回大法要の日に公開されています。



6. 回向院：

振袖火事（明暦の大火）の後、貴賤の別なく死者を埋葬した法然上人を始祖とする浄土宗寺院。その後、江戸市中すべての無縁仏を埋葬するようになりました。また両国の相撲発祥の地です。



7. 懇親会：

ちゃんこ江戸沢別館で昼食とり、懇談しました。



8. 感想：

- ・関東大震災と日本大空襲の霊に初めて向き合いました。
動画や写真、絵など、みる価値のあるものが多かった。
復興記念館には大震災を記録した価値ある動画や絵が公開されていた。
「横綱公園」内の主な施設に入場し犠牲者の方々を参拝することができた。
平和を後世に引き継ぐ責任を少しは果たしたような気がしました。



- ・両国のイメージは国技館程度で、歴史的施設が集中している地とは知りませんでした。
葛飾北斎の「北斎館」があり、お勧めします
今度は家族で計画し、時間をかけて周辺を散策したいと思いました。
特に「相撲の街であり、美味しい珍しい食べ物を楽しみにしています。
- ・自由見学としたので、位置的なイメージがわからなかった。
- ・横浜線中山からの参加の人と両国駅直接集合で合流しました。
池田さんのダルマ時代の知人が多く集まり、盛況でした。
両国地域が始めてで、中山駅から現地まで幹事のリードで参加することができた。
- ・池田さんが寄付したの「思い出ベンチ」があります。
一両親に感謝を込めて—2020.12



第2回「まちネット勉強会」の案内

テーマ：知っていますか？「横浜空襲」

昭和20年5月29日の横浜大空襲についてお話を伺い、意見交換をします。

講師：横浜市史資料室 羽田博昭氏 9月24日（土）13時～16時

場所：みどり一む（JR横浜線中山駅徒歩5分）

人数：20名

問合せ：樋口 080-3914-1682 池田 080-5007-0885

以上